

議会  
だより

# あしや

町

NO. 191

平成 28 年 11 月 15 日発行  
福岡県芦屋町議会



もくじ

9月定例会

- 27年度こんなことに使いました P 2～
- 定住化を推進 (27年度決算) P 4～
- 6人が町政を問う (一般質問) P 10～
- 町かどインタビュー P 18

芦屋基地航空祭 ブルーインパルス展示飛行

撮影協力：芦屋ドルフィンフォトクラブ

(平成28年10月9日撮影)

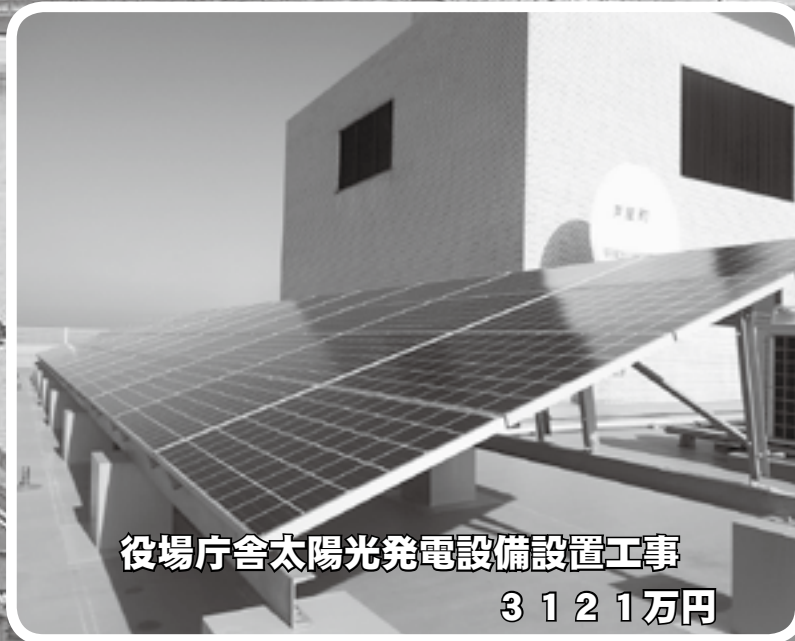
# 9月定例会（9月7日～21日）

第3回定例会が、平成28年9月7日から21日までの15日間の会期で開催されました。8、9日に行われた一般質問では、6人の議員が登壇しました。  
条例、補正予算、決算など18議案が可決、認定されました。

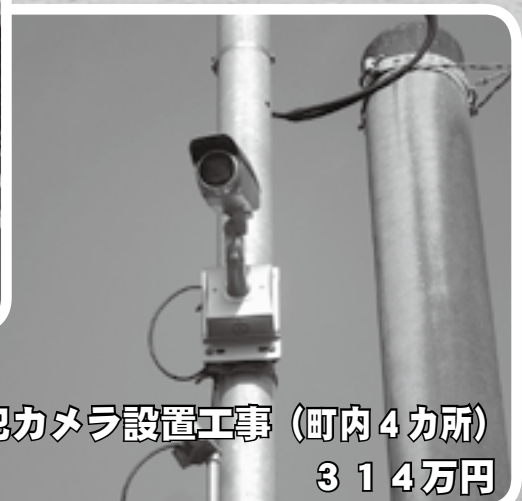
# 使いました！



給食センター特別会計へ繰出金  
5億9733万円



役場庁舎太陽光発電設備設置工事  
3121万円



防犯カメラ設置工事（町内4カ所）  
314万円



# 27年度 こんなことに



小中学生・高校生等通学費補助金  
179万円



出産祝金  
520万円



夏井ヶ浜海岸崩落防止工事  
県事業負担金 2448万円



柏原漁港エリア分け（観光・漁業）  
フェンス設置工事 5492万円

# 進し 活力ある町に

## 小中学生・高校生等通学費補助など子育て、教育環境を充実し、子育て世帯の定住を進める

一般会計決算は、歳入 82 億 7984 万円（前年度比 8 億 5488 万円増）、歳出 80 億 1399 万円（前年度比 1 億 7431 万円増）となりました。

歳入については、町税や使用料・手数料などの自主財源が約 40%、地方交付税や国庫支出金などの依存財源が約 60%を占めています。なお、自主財源のうちモーターボート競走事業会計からの収益金は 4 億円でした。

歳出では、民生費（子ども医療費や介護保険広域連合負担金など）が 23.4%、総務費（人件費や電算システム経費など）が 18%、教育費が 16.2%となっています。また、定住化促進事業に係る決算額は、約 2500 万円でした。

基金（貯金）の残高は、43 億 2780 万円（前年度比 5 億 6696 万円減）で、町債（借金）は、70 億 5416 万円（前年度比 5 億 487 万円減）となっています。

### 主な定住化促進事業

- 定住促進奨励金（固定資産税相当額の補助） 483 万円
- 中古住宅解体新築補助金 90 万円
- 老朽化危険家屋解体補助金 438 万円
- 住宅用太陽光システム設置補助金 108 万円
- 新婚・子育て世帯民間賃貸住宅家賃補助 236 万円
- 小中学生・高校生等通学費補助 179 万円
- 出産祝金 520 万円



### 27 年度の決算状況

会計名	歳入額	歳出額	結果
一般会計	82 億 8000 万円	80 億 1400 万円	賛成多数
独法芦屋中央病院貸付金特別会計	2 億 2700 万円	2 億 2700 万円	満場一致
国民健康保険特別会計	21 億円	20 億 2600 万円	満場一致
後期高齢者医療特別会計	2 億 1000 万円	2 億 300 万円	賛成多数
国民宿舎特別会計	1 億 1100 万円	1 億 900 万円	満場一致
給食センター特別会計	6 億 6600 万円	6 億 6400 万円	賛成多数
モーターボート競走事業会計	852 億 3500 万円	844 億 1800 万円	満場一致
公共下水道事業会計	6 億 8500 万円	7 億 700 万円	満場一致

# 27年度 決算

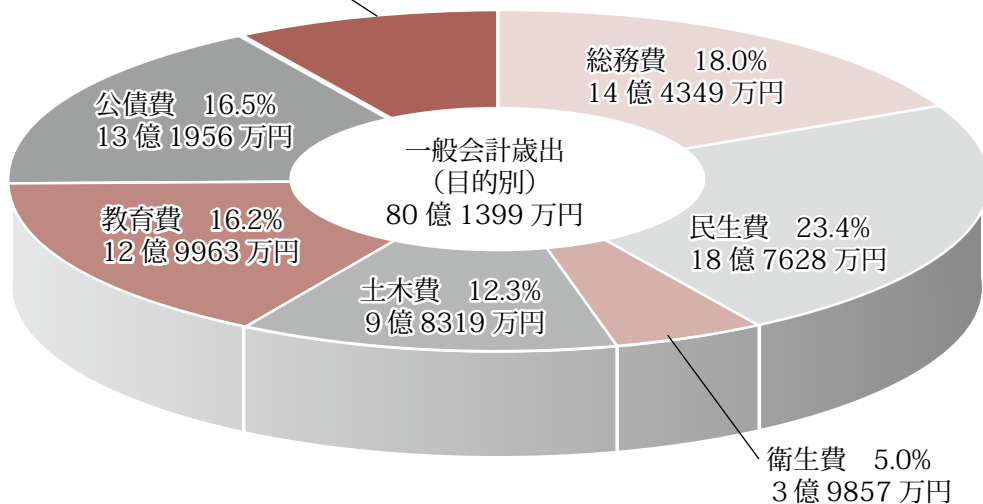
# 定住化を推

## 主な歳入の推移

	H25	H26	H27
町税	17.5% 12億3641万円	16.4% 12億1448万円	14.6% 12億901万円
地方交付税	28.7% 20億3408万円	26.5% 19億6540万円	24.8% 20億5051万円
町債	6.7% 4億7290万円	14.2% 10億5522万円	14.2% 11億7195万円
国・県支出金	16.2% 11億4769万円	17.0% 12億6486万円	16.8% 13億8985万円
その他	31.0% 21億9395万円 うち競艇事業からの収入 6億円	25.9% 19億2500万円 うち競艇事業からの収入 6億円	29.7% 24億5852万円 うち競艇事業からの収入 4億円
	70億8503万円	74億2496万円	82億7984万円

## どんなことに使われたか (歳出)

その他※ 8.7% 6億9327万円



※【その他内訳】

消防費 2億1304万円  
議会費 1億1767万円

商工費 1億9150万円  
農林水産業費 1億6402万円  
諸支出金 704万円



# 平成27年度一般会計決算

(賛成多数・認定)

## 質疑

### 敬老祝金

**問** 年々、お年寄りの数は増えているように感じるが、敬老祝金の支出が、前年度より減っているのは。

**答** 26年度は、422人、27年度は345人へ支給。支給対象の人数が大きく減少したため減額となった。

### 敬老会記念品

**問** 敬老会では、10000円の商品券を配布しているが、取り来ない人はどのくらいいるのか。また、その対策は。

**答** 敬老会の案内通知が商品券の引換券となる。70歳以上の全世帯約3000人に配布し

ており、約9割は商品券を取りに来ている。未受領者への対応はしていない。

### 要介護認定経費負担金

**問** 要介護認定経費負担金1270万円の使途は。

**答** 介護保険広域連合遠賀支部に拠出する負担金で、主な用途は医師の雇用、診断料、訪

問調査員の人件費。

### 公園の遊具点検

**問** 遊具の点検は定期的に行われているか。

**答** 28年度は専門家による定期点検を実施し、危険な遊具は撤去や修理をする。

### 総合体育館の利用状況

**問** 総合体育館の利用者が増えているが、利

用状況は。

**答** トレーニング室の利用者が増えており、

利用者は町内者が7割、町外者が3割。

### 学校の監視カメラ

**問** 各小中学校の監視カメラの設置台数と設置場所は。

**答** 各校とも5台ずつ設置しており、人の出入りが多い場所に設置している。

### 柏原漁港海岸調査

**問** 柏原漁港海岸の土質・磁気調査委託に約101万円執行しているが、当初、補正予算のいずれにも計上されていない。その理由と委託事業の内容は。

**答** 海上保安庁へ報告の義務があるため、ダイオキシン等の土質調査及び第2次世界大戦中に機雷が投下された恐れのある海底区域の

### 職員健康相談室

調査を実施した。調査の結果、特段危険なものはない。

### 職員健康相談室

**問** 職員の健康相談室の利用状況は。

**答** 健康相談室は職員のと心との健康づくりを目的に、平成27年7月から行われている。28年8月末まで、35回実施し、延べ155人が利用している。

### 職員援助プログラム(EAP)

**問** 職員援助プログラム(EAP)の業務委託内容は。また、休職者の人数は。

**答** 職員からのメール、電話、面接での相談業務。また、休職した職員の復職に向けた支援。年に一度、職員向けのメンタルヘルスの研修会の実施である。現在休職者は5人。



27年度に新しい遊具が設置された海浜公園わんぱーく



町内すべての小中学校に設置された監視カメラ

## 道路改修

**問** 道路の補修はどのような基準で行っているのか。

**答** 明確な基準はないが、巡視や住民からの連絡により、歩行に障害となる段差があれば補修している。また、27年度より路面正常調査を実施し、傷みを数値化している。

## 反対討論

### 数千億円のマイナンバーシステムに欠陥

川上誠一議員

決算の中にはマイナンバー制度導入に関連した委託料や賃金があげられている。

マイナンバー制度は昨年10月から手続きが始まったが、圧倒的多数の国民にとって使う機会はない。また、マイナンバーカードを発行する際にサーバーの

プログラムミスにより交付が滞る事態が起きた。数千億円が投じられたシステムが本格運用されたとは、構造的な欠陥が疑われるものだ。

### 平成27年度給食センター特別会計決算 (賛成多数・認定)

#### 質疑

#### 新給食センター

**問** 新、旧の給食センターのランニングコストはどう変わったか。

**答** 新給食センターで

はエアコン設置等により光熱費が約800万円増えている。

### 平成27年度公共下水道事業会計決算 (満場一致・認定)

#### 質疑

#### 赤字経営の今後の見通し

**問** 27年度決算は、2500万円の赤字だが、今後の見通しは。

**答** 平成28年度は5月会計から2000万円の経営補助金があることから、赤字はなくなると予想される。人口の減少や節水型家電の利用により使用料収入は減ることが見込まれるが、数年は赤字にはならないと予測する。

### 障害福祉計画推進委員会設置条例の改正 (満場一致・可決)

障がい者を理由とする差別を解消するための取り組みを効果的かつ円滑に行うために、推進委員会が障害者差別解消支援地域協議会を兼ねることができるよう条例を改正します。

#### 質疑

#### 協議会委員構成

**問** 委員構成は。

**答** 具体的にはまだ決まっていないが、従来の保健医療関係者、学識経験者に加え、障がい者団体関係者、教育関係者、法曹等関係者の12人以内で構成する予定である。

## 条例

### 障害者差別解消支援地域協議会設置

障がい者差別の具体的な解消策を協議する目的で設置



### 町営住宅設置及び管理条例の改正 (賛成多数・可決)

### 所得制限外住宅設置及び管理条例の改正 (賛成多数・可決)

(賛成多数・可決)

老朽化した町営住宅の解体等に伴い、条例の別表に定めている住宅の構造、床面積、戸数、間取り等を削除し、町営住宅の名称と所在地だけを規定します。

また、所得制限外住宅では町の施策に基づく事業の関係者で、町長が認めた者は町外者であっても入居できるようにします。

### 質疑

#### 条例の表記

問 条例から削除された項目は規則や要綱で定めるべきでは。



新後水団地イメージ図

答 町のホームページに掲載するが、規則や要綱に定めることは今後検討する。

### 反対討論

#### 町と議会との共通認識が必要

刀根正幸議員

この条例改正により町営住宅の増減が条例に影響を及ぼさないよ

○新後水団地イメージ図は基本設計時点の内容であり、実施設計で変更になる場合があります。

うに事務が簡素化されるが、町営住宅という公有財産においては、議会と町が共通認識を持つて進めるべきである。豊洲市場の問題でも行政誘導型というところが見えたが、今までどおり議会に提案すべきと考える。

## 介護ロボット導入事業者に補助金交付

一般会計補正予算 3400万円増額

正算  
補予

### 歳出の主な内容

補正のあった歳出の主な内容	補正額
地域介護・福祉空間整備等補助金 (介護ロボットを導入する事業者に補助金を交付)	360万円
町営住宅修繕料 (町営住宅への入居前整備費用)	500万円

歳入では、地域介護・福祉空間整備推進交付金350万円と財政調整基金繰入金3000万円を増額措置しています。また、歳出では、アッシー着ぐるみ製作業務委託や福祉会館トイレ改修工事、地域介護・福祉空間整備等補助金360万円、町営住宅の修繕料500万円などを増額措置し、総額3400万円の増額補正です。  
(満場一致・可決)

### 質疑

#### 介護ロボット

問 国の補助金の地域介護・福祉空間整備等補助金の内容は。

答 介護事業者が介護ロボットを導入する経費の一部を補助する。町内の対象事業者20者のうち、4者から要望があった。1者あたりの上限額は、約93万円。介護ロボットとは、ベッドにセンサーユニットを置き、動きを感知するもの。徘徊予防やベッドからの転落未然防止及び心拍、呼



吸、体動の記録管理に役立つ。

1件あたり平均で90万円程度かかっている。

### 退去後の現状復旧

**問** 町営住宅退去後の修繕料が1件あたり

100万円計上されているが、その内容は。

**答** 入居時に納付された敷金（家賃の3カ月分）は、豊やふすまの修理代としている。町では、大工経費30万円、塗装20万円、トイレ15万円、風呂15〜18万円、洗面所10万円程度の修繕を行っており、

### 発言の取消し

9月9日の一般質問における発言について、妹川議員より「不適切と思われるかねない発言があった」ということで、同日付で発言取消申出書が提出され、9月21日の本会議で発言の取消しが許可されました。



緑ヶ丘 7-5 棟に設置されたエレベーター

## 9月定例会意見が分かれた議案の賛否一覧

表決にあたり、意見が分かれた議案の賛否について掲載しています。掲載のない議案は、満場一致で可決されました。 ○賛成、×反対、欠は欠席を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	松上	松岡	今田	内海	刀根	妹川	貝掛	田島	辻本	川上	横尾	小田			
町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	×	○	議長	8	2	可決
所得制限外住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	議長	9	1	可決
平成 27 年度芦屋町一般会計決算の認定	○	○	×	○	×	欠	○	○	○	×	○	議長	7	3	認定
平成 27 年度芦屋町地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計決算の認定	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	9	1	認定
平成 27 年度芦屋町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	議長	9	1	認定
平成 27 年度芦屋町給食センター特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	議長	9	1	認定

## 行政報告

行政報告とは・・・  
町長が議会を通じて町の重要な問題の経過等を住民に報告するものです。ここでは、平成 28 年 7 月から 9 月までの行政報告の一部を掲載しています。

### 西祇園橋、グレートアップワークショップ

西祇園橋の架け替え事業は、福岡県によりすでに基礎調査や設計、地元協議を終えています。

また、地元要望のグレートアップは、5月から地元関係団体など11人で構成するワークショップを3回開催し、響灘に面した白砂青松の美しい海岸線や国の重要文化財の芦屋釜など豊富な地域資源との調和をコンセプトに芦屋橋やなみかけ大橋を見学し、親柱や高欄、照明などの素案を作成しました。



架け替えられる西祇園橋

# 一般質問

# 町政を問う

9月8、9日に議員6人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。質問する議員は、事前に質問通告書を提出し、本会議において1人60分の制限時間内で質問を行っています。

議会だよりでは、質問した議員が自ら記事を作り掲載していますが、紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

◎：記事掲載あり      ○：記事掲載なし

ページ	質問議員	質問事項
11	川上 誠一	◎新オレンジプラン（認知症施策5カ年プラン） ◎ストレスチェック ○非正規職員の実態
12	松岡 泉	◎地域社会の助け合い活動に必要な個人情報の取り扱いに関する支援 ◎「北九州市との連携中枢都市圏構想」に基づく連携協約事業の推進
13	内海 猛年	◎介護保険
14	横尾 武志	◎小学校・中学校で生徒指導上の問題 ◎芦屋町定住促進事業 ○北九州都市圏域連携中枢都市圏ビジョンの東京で行われる大規模イベント
15	妹川 征男	◎新中央病院建て替え ○芦屋港のレジャー港化に向けて
16	田島 憲道	◎商店街と協働の町づくり







かわ 川 せい いち  
かみ 上

## 認知症の人や家族が交流する オレンジカフェの設置は

福祉課長

### 安心できる運営体制のもとカフェ の設置に取り組んでいく

#### 新オレンジプラン（認知 症施策5カ年プラン）

**議員** 認知症サポーター養成講座の実施状況と今後の取り組みを伺う。

**課長** 25回の講座を実施し、633人のサポーターが誕生した。認知症に対する理解者を増やすため、各種団体への呼びかけや、介護予防教室のメニューに組み入れるなど、多くのサポーターを養成する。

**議員** 認知症総合支援事業は認知症高齢者の家族支援や認知症ケアに関わる多職種連携を行うとしているが、町での取り組みはどうなのか。

**課長** 認知症支援チーム設置の準備のため、遠賀中間医師会における専門医養成等の考え方の確認を行っている。また、認知症地域支援推進員を2名を設置し、認知症の方への支援を行っている。



自治区公民館で行われた認知症サポーター養成講座

**議員** 県内でも認知症の人や家族が交流する「オレンジカフェ」に取り組んでいるが、町でも取り組むべきではないか。

**課長** 「オレンジカフェ」は認知症の人やその家族、地域の人々が定期的に交流すること、地域の人々の心理的不安の軽減やさまざまな情報を得られるなどの理由で着目されている。

認知症高齢者の増加が予測さ

れており、安心できる運営体制で設置できるよう取り組む。

#### ストレスチェック

**議員** 労働安全衛生法が改正され、町職員のストレスチェックの実施が義務付けられたが、どう取り組むのか。

**課長** 職員のストレスの程度を把握し、自身のストレスの気づきを促すとともに職場改善につなげ、職員がメンタルヘルス不調になることを未然に防止するために行う。9月中旬に実施するよう進めている。

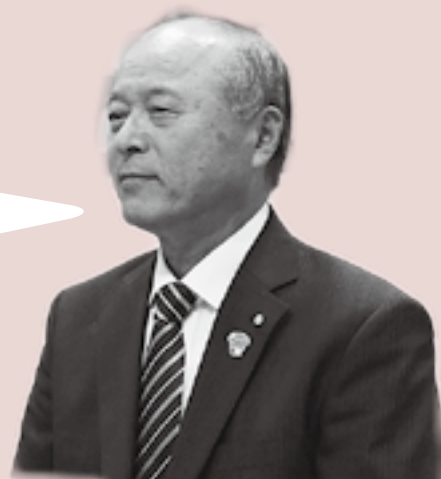
**議員** メンタルヘルス不調の原因は個人の資質の問題ではなく、職場全体の重要な問題である。人員不足からの労働強化や残業の増加、成果主義の人事評価など、職場の改善が必要ではないか。

**課長** 産業医と保健師の助言を踏まえ、職場の環境改善につなげていきたい。

## 地域での個人情報取り扱いの手引きを作成できないか

総務課長

### 自治区で配慮が必要な事項の手引きや事例集の作成は可能



まつ松 おか岡 いずみ泉

#### 助け合い活動に必要な個人情報取り扱いに関する支援

**議員** 自治区等では、個人情報保護の保護に対する過剰反応や取り扱いの戸惑いがある。災害基本法に基づき、災害時避難行動要支援者名簿が作成されたが、個人情報の収集状況はどうだったか。

**課長** 1722人に案内した結果、1530人から回答があり、名簿への記載を希望する人は868人で、希望しない人は662人だった。

**議員** 名簿への記載ができなかった要因は何と考えるか。

**課長** 「災害時には、自立で対応ができる。」「家族の支援が期待できる。」との理由である。また、未回答の人を含め、地域に自分の個人情報を開示したくないという人も多いことが考えられる。

**議員** 自治区等に関わる関係団体が、それぞれ取り扱う個人情報を共有し、協働・連携を図れば、活動の輪が広がると考えるが、情報の共有についてどう考えるか。

**課長** 社会福祉協議会が進めるモデル地区の「愛の福祉ネットワーク事業」は、民生児童委員も支援者として関わっており、よい関係が構築され、情報連携も問題ない。



京都市社会福祉協議会のパンフレット

**議員** 個人情報を有用に活用するための手引きを作成できないか。

**課長** 自治区で配慮が必要な事項については、手引きや事例集などを作成して、配布することは可能である。

#### 北九州市との連携中核都市圏構想

**議員** 協約に記載されていない事業の受け入れは。

**課長** 新たな連携のアイデアや必要性が出てくることを想定し、定期的に見直す。

**議員** 町が期待する事業を完了するための北九州市への対応戦略は。

**町長** 協定書を結んだばかりで、北九州市を中心として17市町が関わるのでそれぞれの立場を踏まえ、地道に推進していきたい。





うち内 うみ海 たけ猛 とし年

# 低所得者の方も特養に入所できるのか

## 福祉課長

### 居住費や食費、介護サービス費用に補助があり入所は可能

#### 介護保険

**議員** 特別養護老人ホーム（特養）ソレイユ芦屋とまつかぜ荘は現在満室と聞いているが、待機者の状況は。

**課長** 重複して申し込んでいる方もいるが、ソレイユ芦屋は27人、まつかぜ荘は45人の待機者がいる。

**議員** 平成37年には、65歳以上の高齢化率は32・4%と予測され、特養の需要はますます高まると考えるが、今後の取り組みは。

**課長** 福岡県で重複申込者などを除いた数値が示されるので、その後に必要数や整備のあり方を検討できないか考えている。

**議員** 27年4月より特養の入所基準が要介護1以上から原則3以上に改正され、要介護1・2の方の入所が難しく

なったが、家族の負担が増えるのではないかと。

**課長** 要介護1・2に関して、特養の入所が基本的にできないため、在宅介護が必要になってくる。今後はその課題と対策をとる必要があると考える。

**議員** 特養の入所費用は一般的に個室で月13万円から15万円、多床室で月8万円から13万円と聞いている。国民年金を満額受給している方の月額は、6万5千円だが、入所費用に満たない低所得者の方も特養に入所できるのか。

**課長** 介護保険には、居住費や食費、介護サービス費用の補助制度があり、低所得者の方でも入所は可能である。ただし、日常生活用品等の費用は別途必要になる。

また、単身で1千万円以上、夫婦で2千万円以上の預貯金がある場合は補助がない。

**町長** 町単独では難しい。大きな問題であり、国の動向を見据えていきたい。

**議員** 介護事業費は毎年5%の伸びを示しており、今後利用者の負担増につながる。定住策の一環として自己負担分の軽減、助成はできないか。



山鹿大君に開設された特別養護老人ホームソレイユ芦屋



よこ 横 お尾 尾 たけ 武 し 志

# いじめ問題発生の場合、対応マニュアルの策定は

学校教育課長

## 26年度に策定した芦屋町いじめ防止基本方針に基づき対応

### 小中学校で生徒指導上の問題

**議員** いじめ問題で生徒・児童が登校していないようだが、事実はどうか。

**課長** 小学校でLINE注のトラブルにより児童1名が登校できなくなっている。

**議員** その不登校児に対しての解決策は。

**課長** 事実把握後、保護者と学校側で連絡を取り合い、状況把握をしながら問題解決に努めている。また、スクールカウンセラーや臨床心理士をメンバーとしたケース会議も開催する等、原因を解消し、児童や保護者の心のケアをすることで、早く児童が登校できるように努めている。

町では8年前に脱ケータイ宣言をしたが、社会情勢の変化により小学生でも携帯やスマートフォン注の所持率が半数を超えて

いる。今回、LINEによるトラブルが発生したことで、小学校ではやむを得ず携帯やスマホを所持させる場合の使用ルールを作成し、保護者へ周知徹底をする。中学校では、27年度に生徒会がルールを定め、高い実効性が出ているようだ。

**議員** いじめ問題が発生した場合の対応マニュアルを策定しているか。

**課長** 26年に策定した芦屋町いじめ防止基本方針に基づき対応した。

### 芦屋町定住促進事業

**議員** 定住支援策が14項目程あるが、年間予算額は。

**課長** 28年度の当初予算額は8744万円、決算見込み額は約5000万円。

**議員** 職員の町外者の人数は。

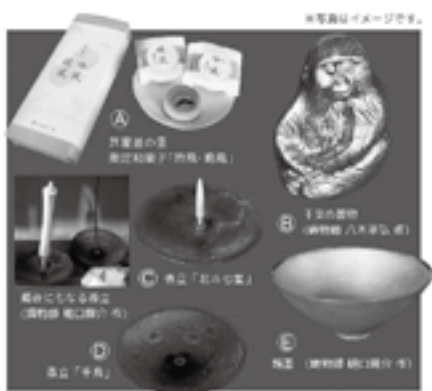
**課長** 28年4月では、職員数149人のうち町外者

83人(55・7%)。

**議員** 定住促進事業をしているのに、半分以上は町外者である。町外者の職員も町を思うなら、ふるさと納税を活用しては。

**課長** 27年度のふるさと納税者62人のうち、職員は15人。そのうち町外者は12人。

**町長** 町から給料をもらっているのだから、せめてふるさと納税をしてほしい。



平成28年度ふるさと納税返礼品

※注1 LINE(ライン) スマートフォンなどで無料でメールや通話ができるコミュニケーションアプリ





お 男 征 川 妹

## 院外薬局を取りやめ、院内薬局に変更すべきだ

副町長

### 外来患者に不便をかけるが入院患者への医療の強化推進を充実する

#### 新中央病院建て替え

議員

7月の病院建て替えの住民説明会資料は、①

患者側のメリット一辺倒なのはなぜか。②院外薬局設置は、町民的合意形成は図られていないのではないか。③メリットに「診察終了後の会計待ち時間が短縮される」とあるが、院外薬局に行く時間と薬局での待ち時間を合わせると短縮されるどころか、長くなるではないか。まさに詭弁ではなかったか。

課長

①デメリットは記載していないが、口頭で説明した。②節目節目で説明会や広報掲載を行ってきた。将来に向けた病院経営や職員体制、医療ニーズを総合的に検討した中で院外薬局と決定した。③院内処方待ち時間と比べ、集中する時間帯を緩和でき、待ち時間短縮につながる。

議員

かかりつけ薬局は「絵

に描いた餅」である。

また町民や議員に医薬分業などと説明しながら、うまく誘導を図り、院外薬局へと強行していった。

患者は病院の窓口で支払う診療支払いのほか、院外薬局では調剤料や調剤技術料の増額と新たに薬剤服用履歴管理指導料を支払うことになり、安いジェネリック医薬品（後発医薬品）を選んだとしても患者が支払う医療費合計は、約3割から4割程度高くなる。

さらに、高齢者や病身の人が照りつける日差しや風雨の中を、院外薬局まで薬を求めて100メートル以上も、移動しなければならぬことを病院側は熟知していないながら、なぜ院外薬局にするのか。営利を追求するあまり、患者中心の医療の提供という理念からかけ離れており、患者側の視点が全く欠けている。町民から相当な批判が出ると思われる。



新芦屋中央病院建設 地鎮祭の様子（H 28.9.28）

院内薬局に変更すべきとの町民の声にどう応えるか。

副町長

薬局については、経営形態検討委員会で議論してきた。診療後に薬を取りに行く時間や医療費増は、議員が指摘されているとおりである。

外来患者には不便をかけるが、病院は外来の患者だけではない。入院患者への薬の管理や指導、医師、看護師、薬剤師などによる医療の強化推進を充実するメリットが重視されている。

## 空き店舗対策の補助金はエリアを広げるべきでは

地域づくり課長

芦屋ならではの施策に取り組む計画だ。補助要件の見直しは検討中



た じ ま けん どう  
田 島 憲 道

### 商店街と協働の町づくり

討中である。

#### 議員

空き店舗活用事業補助金は、商業地域に限定しているが、これを活用できるエリアを広げるような検討はできないのか。

#### 議員

検討中ということであれば、不備を改善していけばいい。

#### 町長

町内の空き店舗について、行政は詳しくは知らない。商工会もそれを把握していないことは驚きだ。

行政は活性化して欲しいということ、いろんな形の中で補助金、人的支援もやっている。指摘があった創業支援についても、もう少し突っ込んでやるべきだ。やはり行政と商工会が、密に連絡を取り合ってやらなくては、町の再生はできない。

#### 課長

補助金の交付要綱で、空き店舗とは用途地域における商業地域の区域内と定めている。これは、要綱策定時の平成26年は、スーパーはまゆうを誘致した直後で、中心市街地、特に正門通り商店街の活性化が急務ということで、区域要件を定めた。

しかし、28年3月に策定したまち・ひと・しごと創生総合戦略には、海が見える・海を生かしたショップの起業・誘致、芦屋ならではの起業の支援等を掲げて、さまざまな施策に取り組む計画である。このため、現在の要綱にある区域要件には、課題があると認識しており、補助要件の見直しについては現在検

討中である。しかし、28年3月に策定したまち・ひと・しごと創生総合戦略には、海が見える・海を生かしたショップの起業・誘致、芦屋ならではの起業の支援等を掲げて、さまざまな施策に取り組む計画である。このため、現在の要綱にある区域要件には、課題があると認識しており、補助要件の見直しについては現在検



創業等促進支援事業補助金を利用して開業した店舗

漁港区とマリナー区が  
共存する港

～神奈川県 葉山港～

日程

8月2日から4日

視察先

神奈川県 葉山港  
千葉県 館山港  
視察者  
辻本一夫・横尾武志  
貝掛俊之・内海猛年  
今田勝正・松岡 泉

葉山港

神奈川県葉山町にある葉山港は、漁港区とマリナー区の水面利用が共存している港です。大きな取り決めはないが、漁業利用者とレジャー利用者とのトラブルはほとんどありません。葉山港はオリンピックや国民体育大会など

のヨット競技の会場であり、芦屋港と歴史的背景が違うため、芦屋港での漁業利用者とレジャー利用者との共存には、ある程度の利用規制の整備が必要です。また、その管理運営は、葉山港のように漁協を含めた民間委託の導入が望ましいと感じました。

館山港

交流拠点 渚の駅たてやま

千葉県館山市にある館山港は、交流拠点としてターミナル機能を持った「多目



館山港の多目的観光桟橋 (H 28.8.3)

的観光桟橋」(国・県・市で建設費用を負担)や改装した県立博物館の隣に商業施設を新設して交流拠点とした「渚の駅たてやま」を中心に交流ゾーン形成に取り組んでいます。芦屋港には、既存の施設はないため、県や国に働きかけ、いかに財源を確保するかが重要です。そのため議会と執行部が情報を共有して取り組むことが必要だと感じました。

低価格で安全性・利便性の高い施設運営

～広島県 ポートパーク広島～

日程

8月3日から5日

視察先

広島県

ポートパーク広島  
大阪府  
南港魚釣り園護岸  
泉佐野漁協青空市場  
鳥取県 鳥取港

視察者

小田武人・松上宏幸  
川上誠一・田島憲道  
妹川征男・刀根正幸

ポートパーク広島

広島市にあるポ

トパーク広島は、広島湾地域の放置艇の解消を目的に広島県がPFI事業手法により実施し、整備・運営されています。



鳥取港新ポートパーク (H 28.8.5)

PFI事業の利点から低価格で安全性・利便性の高い施設運営がされています。

しかし、係留されているボートは大型のクルーザーが多く、小型の放置船対策施設は空きがあり、芦屋町とはボートの大きさ等の条件が違っていました。

鳥取港

不法係留船対策

鳥取港ポートパーク

は不法係留船対策として整備が行われ、県が直営で運営していま

平成11年に水域101隻を整備し、その後、多数の不法係留船があつたため、平成16年に新ポートパークを水域141隻、陸域182隻で整備しました。新ポートパークの利用率は当初80%ありましたが、近年は減少しているそうです。

※注2 PFI事業  
民間が施設を建設・維持  
管理・運営する方式。



## 町かどインタビュー

じゃむ屋代表の今仁洋子<sup>いまに</sup>さんは、10年前から農地を借り、ブルーベリーの苗木を植え付け、ご自身で収穫からジャム作りをされる等、地産地消に取り組んでいます。今年、空き店舗を活用し、念願の手作りジャムとスイーツのお店「じゃむ屋」を開店されました。芦屋の元気について、お話を伺いました。

**Q** じゃむ屋を開店されたきっかけは？

**A** 以前からお店を持ちたいと思っていました。

**Q** この補助金が開店への後押しをしてくれたと感謝しています。

**A** 以前からお店を持ちたいと思っていました。

**Q** 芦屋町がもつと元気になるためには何が必要ですか？

**A** 町外から来られたお客様は「せっかく芦屋に来たからどこか寄って帰ろう」と言われる方が多く、町が元気になる相乗効果が生まれていると感じています。

**Q** 芦屋町がもつと元気になるためには何が必要ですか？

**A** 町外から来られたお客様は「せっかく芦屋に来たからどこか寄って帰ろう」と言われますか？

**Q** 今後芦屋町に望むことはありますか？

**A** 支援は申し分ありません。ただ、商店街の空き店舗を借りる場合、いろいろな制約があるので、もう少し緩和してもらえば、お店も増えると思います。

しかし、商工会から創業等促進支援補助金制度を教えてもらい、

お客様は「せっかく芦屋に来たからどこか寄って帰ろう」と言

らますか？

に望むことはありますか？



「じゃむ屋」代表 今仁洋子<sup>いまに</sup>さん

**A** 支援は申し分ありません。ただ、商店街の空き店舗を借りる場合、いろいろな制約があるので、もう少し緩和してもらえば、お店も増えると思います。



季節の野菜や果物を使ったジャム



店内のカフェスペース

## 次回の定例会は 12月1日開会予定

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。また、本会議は役場1階ロビーでライブ中継をしています。

※日程は変更になる場合がありますので、傍聴を希望する方は議会事務局にお問い合わせください。(TEL 223-3579)

## 議員控室

たくさんの方の感動を与えたりオリンピックも終わり、2020年の東京オリンピック成功に向けて動き出すと期待された小池都政。しかし、その感動も東の間、豊洲新市場の盛土問題。住民説明とは違った工法、何が問題であったのか、行政側の隠ぺい、情報公開のあり方、議会のチェック機能、食の安全はどこに、謎は深まるばかりで、小池都政はどこで決着するのか。

芦屋町議会広報は皆様信頼できる情報の透明性を追求していきます。

内海 猛年

### 【発行責任者】

議長 小田 武人

### 【議会広報常任委員会】

委員長 川上 誠一

副委員長 内海 猛年

委員 田島 憲道

委員 貝掛 俊之

委員 今田 勝正

委員 松岡 泉